



いほき

No.191

協議会だより

発行 令和元年 11月25日
伊保木ぐるみ協議会
光市大字室積村 858
電話：79-0934

「伊保木文化祭」へのご協力 ありがとうございました

11月10日（日）に開催した「伊保木文化祭」は、天候にも恵まれ事故もなく、おかげをもちまして無事に終わることができました。

前日の準備・餅つきから、当日の作品展示や芸能発表および農産物等の出店販売に携われ、文化祭を大いに盛り上げて頂いた方には、大変お世話になりました。

近年は地域の人口減少により、出展者や出演者が減少しており、芸能発表では客演等でしのいでいるのが現状です。今年は、ジャンルの減少が顕著に現れました。

これからの文化祭については、いかに交流人口等を増やすかに取り組んでいきたいと思っておりますので、皆様方のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

なお、作品の一部は、当分の間展示してありますので、コミュニティセンターにお越しの際は、ご覧ください。



みんなで餅つき



茶利「柴ノ木又右衛門」



和楽輪楽一座は「極楽へのお血脈（お札）」を熱演



ちぎり絵「踊り子少憩」

和楽輪楽一座の「極楽へのお血脈（お札）」には、名子役1名と地域担当職員2名に加え室積出張所長が初出演し、出演者の熱演に会場から沢山の笑いと拍手を頂きました。

室積中学校の創作部7名は、室積小5年生の時に実施した田植えと稲刈りのお礼に、前日の餅つきと準備に参加し、市若手職員の地域ふれあい協働隊4名は、餅つきと準備および文化祭当日のスタッフとして参加し、地域の人と触れ合いました。

今回より新企画として、室積小5年生が作製した案山子8体のコンテストを実施しました。来場者による人気投票で順位を決め、表彰と景品を校長先生に授与。大変喜ばれ、来年も立派な案山子を作りたいとのことでした。

今年も、福祉部サロン集まり隊は、「サロン」を実施しました。福祉部員や地域の方が作った“イモ煮”と“おにぎり”を無料提供し、来場された皆さんに喜んで頂きました。

会場では、久々に会った知人や友人達との話しに花が咲き、お互いの健やかさを確かめ合えた方もおられました。ご利用、ご協力して頂いた方、大変ありがとうございました。



大好評の「サロン」

「第4回伊保木フォトコンテスト」には、20点の応募があり、最優秀賞に原田 浩さん（室積）の「鏡みたいな田んぼだね！」が選ばれました。

芸能発表前に表彰式を行い、原田さんを含む入賞者8人に伊保木産の米、みかん、陶芸品が贈られました。

来年も「伊保木よいとこ」をテーマに作品を募集します。四季折々の伊保木の風景や人情など、多数の応募をお待ちしています。

応募期限は2020年10月27日、サイズはA4または四つ切で。



最優秀賞「鏡みたいな田んぼだね」

文化祭には、日刊新周南・Kビジョン・瀬戸内タイムス・Hikari.Funの取材があり、紙面やブログなどで、その模様を紹介していただきました。

また、和楽輪楽一座の「極楽へのお血脈（お札）」は、Hikari.FunがYouTubeに投稿し、1月27日～31日にはKビジョンで放映する予定です。

「伊保木ぐるみ協議会研修」を開催しました

緊急時安心考え隊が10月20日（日）に実施した研修会には36名の参加があり、ありがとうございました。

今回は、市防災危機管理課と市社協の担当者および犯罪被害防止アドバイザーをお招きし、防災と特殊詐欺防止について講演をして頂きました。

防災については、警戒レベルの導入により、市から発令された警戒レベル3で高齢者等は避難を開始し、警戒レベル4で全員安全な場所へ避難する必要があります。

そのためには、事前に個人で安全な避難場所を決めることが大切です。

詐欺については「ちょっとまって！その電話本当に大丈夫？」で例題を紹介され、家族・親戚で、合言葉を決めることが対策になることを学びました。

今回の研修成果を今後の地域づくりに役立てたいと思いますので、ご協力ください。



研修会の様子

「資源回収」にご協力頂きありがとうございます。

次回以降の資源回収日は、第2月曜日の12月9日、1月13日、…です。

引き続き、よろしくお願い致します。